



事務連絡
令和6年 5月 17日

支部長各位
(一社) 全国物流ネットワーク協会会長 殿
(一社) 東京環境保全協会会長 殿

(一社) 東京都トラック協会
業務部交通・環境グループ

「事業用トラックによる重大事故発生への対応について」の周知のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今般、全日本トラック協会より、別添のとおり「事業用トラックによる重大事故発生への対応について」の通知がありました。

つきましては、本件の趣旨をご承知おきいただくとともに、貴支部（会）会員の皆様にご周知いただくようお願いいたします。

本件につきましては、東京都トラック協会のホームページにも掲載しております。

敬具

記

●添付：全ト協発第93号（環）事業用トラックによる重大事故発生への対応について

以上

問い合わせ先
東京都トラック協会 業務部 交通・環境グループ
電話：03-3359-3618



全ト協発第93号（環）
令和6年5月16日

各都道府県トラック協会会長 殿

公益社団法人全日本トラック協会
会長 坂本 克 司



事業用トラックによる重大事故発生への対応について

平素は、当協会の業務運営に関し種々ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年5月6日（月）、群馬県内の国道において、事業用トラックが対向車線にはみ出し、乗用車2台と衝突し3人が死亡する事故があり、また、令和6年5月14日（火）、埼玉県内の首都高速道路において、事業用トラックが渋滞の最後尾に突っ込み3人が死亡する痛ましい追突事故が発生しました。

こうした事故の原因は現在調査中ではあるものの、産業活動や国民生活に不可欠な物流を担う事業用トラックが第1当事者となるこうした重大事故が相次ぐことにより、国民の生命・財産への甚大な被害を生じさせることで、これまで培われてきた社会的信頼性が一気に損なわれることとなります。

トラック運送業界と致しましては、こうした交通事故の再発防止に向け、関係者一丸となって真剣に取り組むことが、社会に対する信頼性確保に向けた重要課題となります。

つきましては、最近の交通事故による死亡事故発生件数の状況と併せ、国土交通省から資料提供された事業用トラックが関係する令和5年中の飲酒事例を添付いたしますので、こうした事例を踏まえつつ、下記事項につきまして傘下会員事業者への周知徹底方、よろしくお願い致します。

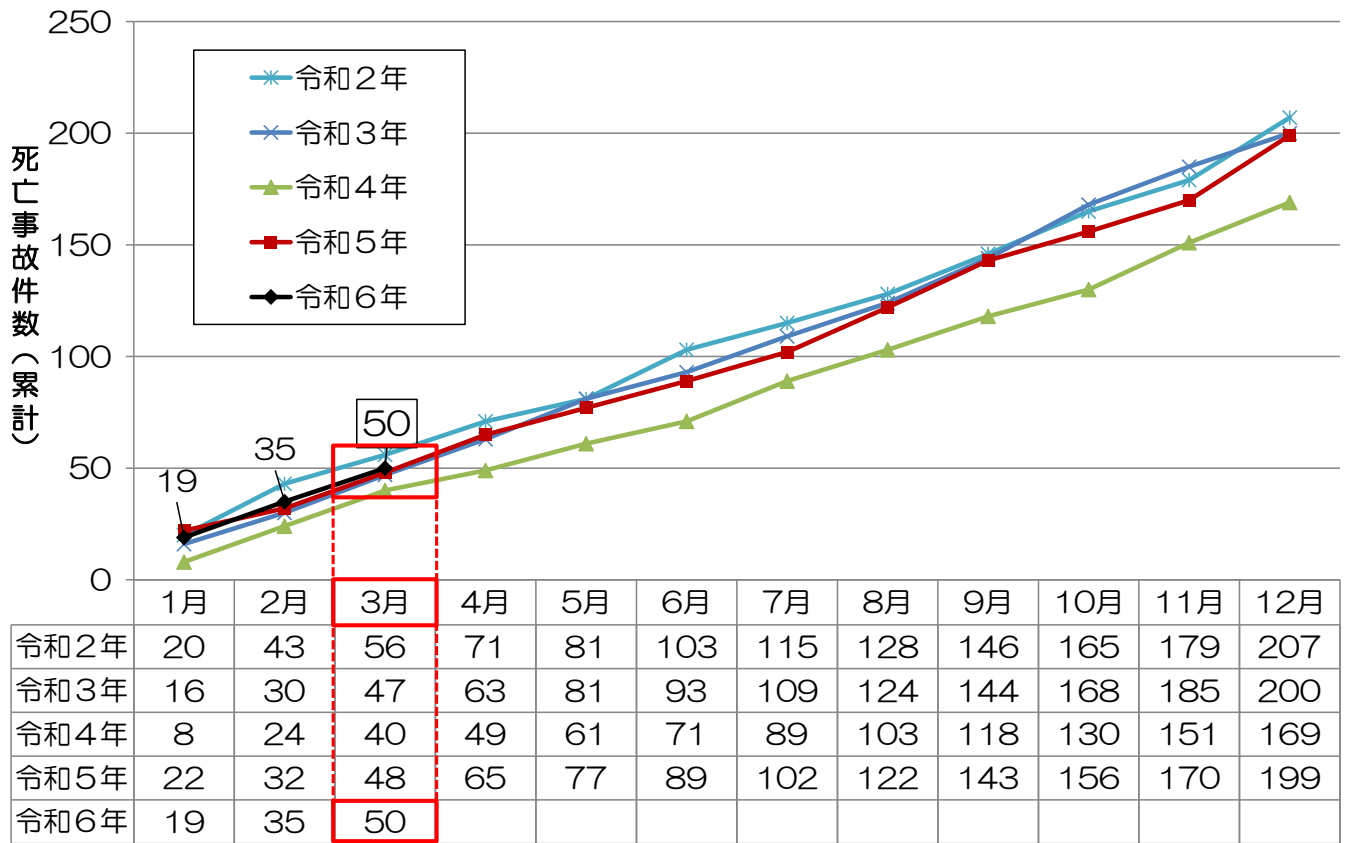
記

1. 改正された改善基準告示に則る乗務割の作成及び運転時間や拘束時間、休息期間確保などドライバーに対する関係法令を遵守することの徹底
2. 最高速度・規制速度の遵守及び適正な車間距離の確保など、道路交通法等関係法令遵守の関係者に対する指導の徹底
3. 乗務前後の対面点呼時はもとより、対面でなく電話その他の方法で行う点呼の場合においても、アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認が確実に実行される点呼実施体制の確立

<お問合せ先>

交通・環境部 TEL : 03-3354-1045

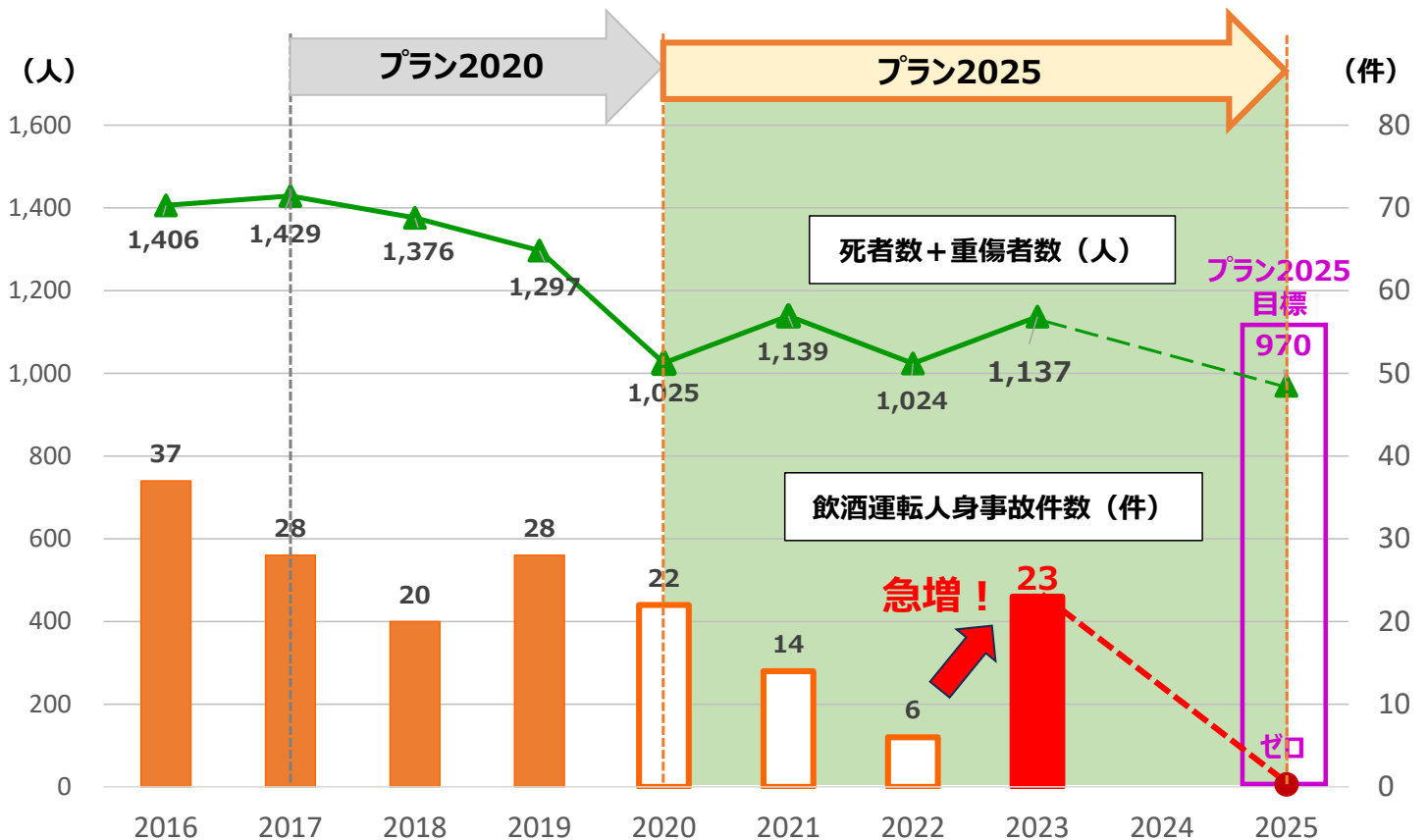
事業用貨物自動車第1当事者となる死亡事故件数の推移（R2～R6）



※軽トラックの件数を除く

資料：警察庁「交通事故統計」

全日本トラック協会「トラック事業における総合安全プラン2025」における目標値と実績



数字はいずれも軽貨物を含まない。 出典：警察庁「交通事故統計」および（公財）交通事故総合分析センター「交通統計」

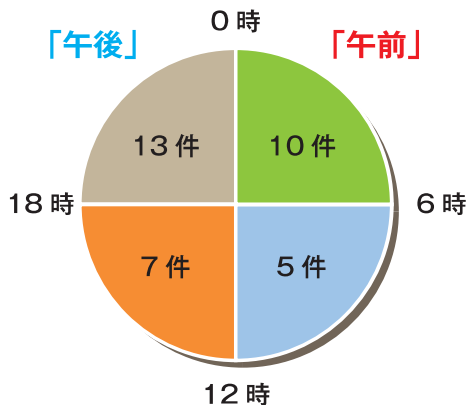
事業用トラックの飲酒事故事例(令和5年1月～12月31日) ※物損事故を含む

出典：メールマガジン「事業用自動車安全通信」(国土交通省)等

	発生日時	車籍地	発生地	死傷状況		事故の概要
				死亡	負傷	
1	1月9日 7時40分	熊本県			1	熊本県に営業所を置く 大型トラック が 信号待ちの車両に追突 した。この事故により、衝突した車両に乗車していた者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当日は、運行管理者不在のため、乗務前点呼を受けずに出庫した模様。
2	1月14日 19時27分	愛知県	福井県		1	愛知県に営業所を置く 大型トラック が交差点において 左から進入してきた軽自動車と衝突 した。この事故により軽自動車の運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当日の乗務前点呼ではアルコール反応はなかった模様。
3	1月16日 14時32分	千葉県				千葉県に営業所を置く 大型トラック が交差点において左折専用レーンを左折せずに直進し、交差点内第2車線を並走していた 大型トレーラの左側面後方部分と自車トラック右側前部が衝突 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当日の乗務前点呼ではアルコール反応はなく、運転者は昼休憩時に飲酒した模様。
4	1月17日 0時19分	島根県	兵庫県			島根県に営業所を置く 大型トラック が第1車線から第2車線に車線変更をしようとした際、 第2車線を走行していた車両に接触 した。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
5	1月27日 18時57分	京都府				京都府に営業所を置く 大型トラック が 営業所敷地内において他の車両と接触 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当該運転者は昼休憩時に缶ビールを飲んでいた模様。
6	2月4日 0時45分	茨城県	滋賀県			茨城県に営業所を置く 大型トラック が高速道路のSAにおいて駐車のために後退した際、 停車中の車両に接触 した。この事故による負傷者はいない。事故発生直後、警察と事業者社長へ連絡し警察の到着を待つ間、運転者は気が動転し、車内に保管していた缶酎ハイを飲酒した模様。
7	2月28日 16時00分	兵庫県			1	兵庫県に営業所を置く 大型トラック が信号待ちをしていた 停車中の乗用車に追突 し、その弾みで追突された乗用車が前方の回送中のバスに追突した。この事故により、乗用車に乗車していた者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 なお、同日8時の乗務前点呼においてアルコール反応はなかった模様。
8	3月2日 3時00分	宮城県	岩手県			宮城県に営業所を置く 大型トラック が運転操作を誤り 路外逸脱し水路に転落 した。この事故による負傷者はいない。当該運転者は、車両の鍵を持ち帰っており点呼未実施のまま同日1時22分頃出発した。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
9	3月8日 14時47分	大阪府	福岡県		1	大阪府に営業所を置く 大型トラック が高速道路を走行中追越し車線を車線変更しようとしたところ、 追越し車線を並走する乗用車に衝突 した。この事故により、並走していた乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当該運転者は3月7日の朝に営業所で対面点呼を受け出庫して以降、点呼は実施されていない模様。
10	3月10日 23時18分	新潟県	秋田県		1	新潟県に営業所を置く 中型トラック が休息を取る為駐車しようとして後退したところ、隣に 駐車していた乗用車に衝突 した。この事故により乗用車に乗車していた者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
11	3月13日 11時50分	島根県	愛知県			島根県に営業所を置く 中型トラック が交差点において 右折待ちしていたトラックに追突 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 荷待ちの時間に飲酒した模様。
12	3月26日 16時50分	岩手県	青森県			岩手県に営業所を置く 大型トラック が高速道路走行中右カーブにおいて 左側壁に衝突 した。運転していたのは元社員(運転者)で、営業所から勝手に車両のカギを持ち出し同車両を運転していた模様。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
13	3月31日 4時30分	兵庫県	東京都		1	兵庫県に営業所を置く 中型トラック が 停車中のトラックに接触 した。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 運転者は3月30日23時ごろ夕食(飲酒含む)を取り休息に入った模様。
14	4月4日 13時30分	青森県	岩手県		2	青森県に営業所を置く 大型トラック がセンターラインをはみ出し スノーシェルターと対向してきた乗用車に衝突 した。この事故により、当該トラック運転者及び乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 同日9時00分ごろ乗務前点呼(電話)を実施しアルコール反応は確認されなかった模様。運転者は、同日11時ごろコンビニでアルコールを購入し飲みながら運転した模様。
15	4月11日 0時55分	愛知県	岐阜県		1	愛知県に営業所を置く 大型トラック が高速道路を走行中右側の 中央分離帯に衝突 した。この事故により運転者が重傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 運転者は予定していた休息を取らずに運行管理者の指示を受けることなく運行し、事故直前に、運転者はコンビニで弁当と酎ハイ500mlを2本を購入し飲みながら運転した模様。
16	4月15日 18時18分	兵庫県			2	兵庫県に営業所を置く 大型トラック が交差点において赤信号で 停車していた乗用車に追突 し、追突された乗用車が前の軽自動車に追突した。この事故により乗用車と軽自動車に乗車していた者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当日の乗務前点呼においては、予定していた点呼執行者が体調不良であったため対面点呼は行われておらず、アルコールチェッカーも使用していなかった模様。なお、運転者は荷卸し後営業所へ戻る途中で飲酒をした模様。
17	4月27日 0時48分	福岡県	岡山県			福岡県に営業所を置く 中型トラック が高速道路PA内で車両を動かし後退した際、 停車中の乗用車に接触 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当該運転者は、4月26日12時36分に対面点呼を実施した際にアルコール反応はなかったが、17時30分ごろ別の高速道路PAに到着して休憩した際に飲酒し18時30分ごろ出発。19時39分に当該PAに到着し電話点呼を実施するが運転者から飲酒の申告はなく、その後再度飲酒した模様。
18	4月27日 3時31分	佐賀県	兵庫県			佐賀県に営業所を置く 大型トラック がコンビニエンスストア駐車場において休息中、別の駐車スペースに車両を移動させようとした際、左側に 駐車していたトラックに接触 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 運転者は4月26日21時43分ごろ乗務後点呼(電話)を実施し休息に入り、同日22時ごろ当該コンビニエンスストアにてビールを購入し飲酒後、23時頃から睡眠していた模様。
19	6月2日 22時00分	静岡県	神奈川県		1	静岡県に営業所を置く 中型トラック が高速道路PAに駐車中に車両が動いてしまい前方に 駐車していたトラックに衝突 。戻ろうと後退した際に運転操作を誤り後方のトラックに衝突した。この事故により衝突されたトラック運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 運転者は同日20時ごろ、当該PAにおいて休息中、前もって購入していた缶酎ハイを飲んだ模様。
20	6月8日 0時08分	佐賀県	岡山県			佐賀県に営業所を置く 大型トラック が高速道路の第2車線を走行中、工事規制が終了したと勘違いし車線変更したところ、 工事のため使用されていたカラーコーンに接触 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 当該運転者への電話点呼は行われず、6月7日22時15分に出発した模様。
21	7月10日 21時15分	富山県				富山県に営業所を置く 中型トラック が判断を誤り 電柱に接触 した。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。

	発生日時	車籍地	発生地	死傷状況		事故の概要
				死亡	負傷	
22	7月15日 18時30分	滋賀県			1	滋賀県に営業所を置く 中型トラック が交差点に赤信号で進入し 乗用車と接触 した。この事故により乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
23	7月19日 15時25分	新潟県				新潟県に営業所を置く 大型トラック が 交差点において 赤信号に従い前車に続いて停止した際、即時にその場で 眠り込んでしまい数十分間停止状態 でいたところ、警察官の職務質問を受け酒気帯び運転が確認された。運転者は、乗務途中にコンビニエンスストアにおいて缶酎ハイを購入し、予め持参していたタンブラーに移し飲みながら運転をしていた模様。当日8時53分ごろに実施した乗務前点呼においてはアルコール反応は確認されなかった模様。
24	7月21日 18時00分	鳥取県	兵庫県			鳥取県に営業所を置く 大型トラック が高速道路PA内において、 接触事故を起こす が通報せずその場を離れた。事故後、警察から営業所に連絡があったことから当該運転者は事故現場へ戻ったところ、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当該運転者は、事故後、別のPAにおいて飲酒していた模様。
25	7月26日 4時48分	新潟県	山梨県		1	新潟県に営業所を置く 大型トラック が高速道路を走行中、路肩付近で 停車していた車両に気付かず に追突した。この事故により追突された車両の運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。7月25日22時36分ごろに長野県において実施した中間点呼においてはアルコール反応は確認されず、その後乗務中に飲酒した模様。
26	8月11日 4時28分	広島県	山口県		1	広島県に営業所を置く 大型トラック が赤信号を青信号と誤認して交差点に進入し トラックと衝突 した。この事故により相手方運転者が重傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。運転者は、8月10日19時30分ごろに夕食（飲酒あり）をとり、同日22時ごろから仮眠し、8月11日4時15分ごろ運行を開始した模様。
27	8月17日 21時31分	福島県				福島県に営業所を置く 大型トラック が空き地に敷設してあった 電柱に車両前部左側から衝突 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当該運転者は、当日18時ごろ休息場所に到着し飲酒したが、寝付けず運行を再開した模様。
28	8月26日 6時40分	沖縄県				沖縄県に営業所を置く 大型トラック が信号が青から赤に変わったため急ブレーキをかけたが 街路樹に追突 した。この事故により負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。事故当日の当該車両の出庫時間帯に運行管理者不在であることから点呼を実施していない模様。当該運転者は、事故前日に自宅にて飲酒したアルコールが残っていた状態であった模様。
29	10月31日 17時15分	岡山県	兵庫県			岡山県に営業所を置く 大型トラック が高速道路を走行中、 工事規制のパイロンを数個はねた が停車せずそのまま走行。警察からの要請により営業所から運転者に連絡し事故現場に戻るよう指示したが、連絡が途切れた。その後も 料金所の支柱や防音壁に衝突 したが停止せずそのまま走行した。その後運転者と連絡が取れ、アルコール検査を実施したところアルコール反応が確認されたため、事業者は運行停止を指示した後、警察が到着し検挙された。この事故による負傷者はいない。当該運転者は、同日13時25分ごろ休息の為高速道路PAに駐車し、家から持参した焼酎を飲酒し寝ようとしたが寝つけず、同日15時54分ごろに当該PAを出発した模様。
30	10月31日 22時30分	栃木県				栃木県に営業所を置く 大型トラック が休息場所から出発した際に、 駐車場フェンス及び隣接する民家の壁に衝突 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当該運転者は同日21時40分ごろ当該駐車場において運行中に購入した酒を飲み睡眠に入ったが、寝ぼけて夜間の配達と勘違いして、点呼も行わず運行を開始した模様。
31	11月1日 11時05分	東京都	栃木県			東京都に営業所を置く 準中型トラック が、曲がろうとしていた十字路を通り過ぎたことに気づき後退したところ、 停止していた後続の軽自動車に衝突 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
32	11月5日 22時30分	福島県				福島県に営業所を置く 大型トラック が交差点において当該トラックの前を走行していた乗用車が右折レーンに車線変更したことから、大型トラックが直進レーンを走行し乗用車の左側方を通過していたところ、 乗用車が直進レーンに再度車線変更を行ったことで当該トラックの右側面後方と接触 したものの。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。同日21時43分ごろ実施した業務前点呼ではアルコールは検知されなかった模様。
33	11月16日 20時55分	京都府	青森県		1	京都府に営業所を置く 中型トラック が路面のわだちハンドルをとられて 路外に逸脱 した。この事故により、運転者が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当該運転者は同日18時20分の乗務後点呼後飲酒し運行をした模様。
34	11月22日 22時44分	岐阜県	滋賀県			岐阜県に営業所を置く 小型トラック が交差点において赤信号で 停止していた乗用車に追突 した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当日は運行管理者不在のため点呼は実施されていない模様。
35	11月26日 9時44分	宮城県			2	宮城県に営業所を置く 大型トラック が交差点において赤信号で 停止中の軽自動車に追突 した。この事故により軽自動車に乗車していた2名が軽傷を負った。事故後、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当該運転者は当日の乗務前点呼を行わずに出庫、運転開始直後から酒を飲み始めた模様。

1. 飲酒事案発覚時刻



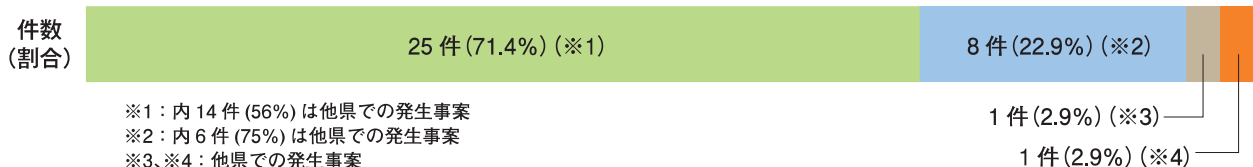
2. 飲酒実態 (国土交通省からの情報提供)

点呼が実施されなかった事例	15
点呼後の運行中に飲酒した事例	14
調査中	6
計	35

※軽貨物自動車を除く

3. 車種別

■ 大型トラック ■ 中型トラック ■ 準中型トラック ■ 小型トラック



参考情報